

巖島神社

鎮座地 館山市那古字上入会七六六
祭神 宇賀弁財天 鳥居 明神鳥居



由緒

仲浜の出洲の祠に祀られていたものを、一七〇三年の元禄地震で隆起してできた現在の場所に移設し、文政七年に浜弁財天建立、天保六年に浜町・寺町の有志により南無大師遍照金剛塔を建立するなどして徐々に整えられてきました。大正十二年の関東大震災で崩壊しましたが、区民の協力により昭和三年に再建されました。

宇賀弁財天は弁財天と宇賀神(ウカノミタマ)が習合したもので、八臂に弓・矢・刀・矛・斧・長杵・鉄輪・絹索を持った弁財天の頭上の宝冠に宇賀神が附けられ、併せて稲荷の鳥居が添えられています。宇賀神は古事記では宇迦之御魂神、日本書紀では倉稲魂命といひ、食物の神で特に稲の霊とされます。浜組は昔から浜辺との関わりが深い土地であるため、河川の神・水の神である弁財天が祀られ、宝冠の宇賀神と稲荷様は隆起してできた土地を開発してできた那古新田の守り神として信仰が寄せられました。そしてその信仰の篤さは山車に良く現れており、人形、胴幕、彫刻の全てが弁財天様に関連つけられた意匠になっています。

自慢の祭

仲濱と大濱の二つの町内会が一つとなり祭礼を催しているのが濱組の特徴です。町内会は別でも現在は壮年会・青年団は普段より一つの組織として活動しており、祭礼に限らず一月のおびしやや、十月の甘酒祭り(神輿)等、年中行事も一緒に執り行っています。以前は仲濱、大濱の二つの地区で一つの青年団が組織され、団長はそれぞれから一人づつ二人が選出されてきました。今でこそ地域ごとの区別はありませんが青年団長は二人が選出され、二年間まとめ役としての任を負います。祭礼の準備から片付けまで青年団が中心となりますが、当日は二人の青年団長のどちらか一人が進行長、もしくは梶棒長となり協力して山車の運行にあたります。基本的にはこの二人の青年団長と一緒に、その後の祭礼会計や濱組全体としての祭礼責任者である総代の役職を担っていくこととなります。

出祭する「那古観音祭礼」二日目の宵祭では、山車の町内曳き廻しの中で地元地域ではありますが現在でも海岸の防波堤まで山車を運行し、昔は各町内も集まっていた「お浜出」の様子を髣髴とさせます。夕方には寺赤組の山車と一緒に隣の船形地区川名と根岸区



二尺一寸の太太鼓が誇らしい濱組山車

山車の曳き廻しでは、現在では珍しくホイッスルや拡声器は使わず肉声のみで連携を図り士気を高め合い、梶棒の操作と合わせ昔ながらの伝統を守り受け継いでいます。濱組には木遣りの名人も多く、この地域でも一、二と言われる大きな太太鼓を叩くバチさばきやお囃子は、見るもの聞くものを魅了します。青年団が中心で教えている太鼓の練習には三十人を超えることも達が毎年参加をし、多くの伝統が引き継がれていく自慢のお祭りです。



太い梶棒を使って山車を回転させる



前方を勢よく高く上げる独特な動き

まで曳き廻しを行っており、隣接する町内との交流も大切にしています。また、濱組のこだわりとして祭典が執り行われる元々の本祭日である七月十八日には、山車を那古寺境内まで寄せています。濱組の山車の特徴と言え、固定された前輪と、その為方向転換に使われる太い梶棒です。山車そのものを動かす為の力強いその操作は、屈強な青年団員達が務めます。また「さす」と言われる山車の前方を勢よく高く上げる動きは、ここぞという場面で行われ、その梶棒を担ぎ上げる姿にこれぞ濱組という祭りに懸ける熱い気概を感じます。



凝った意匠の提灯



珠取龍三指爪の襦袢



昔ながらの半纏

那古観音祭礼

例祭日はもとも七月十七日(宵祭)と十八日(本祭)で、十八日に祭典が執り行われていますが、山車・屋台の引き回しは、原則七月十八日以降の直近の土・日に行われるようになりました。日程は毎年六地区の代表が集まる総代会議で決定されます。古くは各町独自で行っていた祭りを明治三十年(一八九七)より那古観音の縁日に合わせ東藤、大芝、芝崎、浜の四町合同の祭りとなり、その後明治四十三年に寺赤、大正十二年に宿が加盟し今日に至っています。

那古祭礼規約に基づき、一年交代の年番町が祭礼の運営を取り仕切り、本祭は終日六台の山車・屋台がそろって合同で引き回しを行うなど大変統一性があります。各地区とも赤を基調とした提灯、山車の高覧幕はメ縄に三連の細縄と五折の御幣とお揃いのデザインであることも那古地区が一体となった演出美を感じます。

この祭礼の大きな見どころは、太太鼓の技を競い合うお囃子であり、それぞれの地区の叩き手の華麗なバチ捌きと勢いをまた祭礼を締めくくる年番渡しで行われる伝統の「締めことば」もぜひご堪能ください。



那古寺本堂前での年番渡し

このパンフレットは、地域の方々からの聞き取りを中心に、文献・史料からの情報を加えて編集しています。掲載内容へのご指摘やご意見等ぜひご教示賜りたくお願いいたします。